



地域ひと・モノ・未来
情報研究センター

第6回

成果発表シンポジウム

地域ひと・モノ・未来情報研究センターは、多様な情報を情報通信技術（ICT）で解析・連携・共有化し、その成果を「滋賀モデル」として提案・発信すること、また、ICT応用を地域社会で実践できる人材の育成などを目的としています。

滋賀県の歴史・文化・伝統を基盤とした地域の環境・健康福祉・産業振興などのターゲットに対応し、農業・看護・観光・工業等に関する研究を進めると共に、数理モデル・情報解析能力を備える学生の育成および地域ならびに地域産業の課題解決へ向けた社会人の養成・学び直し等を進めています。

この度、令和4年度の成果発表として、下記のとおりシンポジウムを開催します。

開催日時

2023年3月24日（金）～4月21日（金）
（受付：3月24日（金）10時～4月10日（月）17時）
オンデマンド視聴

プログラム

（敬称略）

参加費
（視聴）
無料

- [20分間] 開会の辞とセンターの現状報告
地域ひと・モノ・未来情報研究センター長、
工学部電子システム工学科 教授 酒井 道
- [50分間] 【特別講演】自治体DXの現状とデータの利活用
Gcomホールディングス 執行役員、
地方行政経営研究所所長 小出 篤
- [20分間] 【講演1】データから見える自然とウェルビーイング(幸福)の意外な関係
地域ひと・モノ・未来情報研究センター、
環境科学部環境政策・計画学科 教授 高橋 卓也
- [20分間] 【講演2】機械・構造物損傷の常時監視のための自励駆動型超音波振動を用いたモニタリング技術
地域ひと・モノ・未来情報研究センター、
工学部機械システム工学科 講師 田中 昂
- [15分間] 【講演3】電解還元法による銀ナノ構造体の作製とラマン散乱増強特性の評価～Pythonによるデータ整理の省力化～
地域ひと・モノ・未来情報研究センター、ICT実践学座e-PICT受講生
工学研究科 材料科学専攻 大槻 東也
- [4分間] 閉会の辞
理事、副学長 安原 治

参加（視聴）方法



▲受付HPのQRコード

オンライン視聴にて開催します（視聴した講演への質問があれば、後日回答します）。期間中、自由に視聴下さい。

（視聴方法）☆詳細について質問があれば、末尾電子メールでお尋ねください

1. 期間中、下記の受付ホームページにアクセスし、受付フォームに参加者情報を入力してください。

<https://www.ict.usp.ac.jp/posts/news71.html>

2. 取得された各ビデオ動画ファイルへのアクセス情報により、期間中ご自由に視聴ください。
3. 質問・アンケートにお答えください。アンケートにお答えいただいた方に、後日、動画中で用いたスライド（pdfファイル）のコピーをお送りします。

（参考）当センターのご案内

交通アクセス

- ▼JR南彦根駅まで
JR京都駅から普通で60分
JR名古屋駅から快速で80分
- ▼JR彦根駅まで
JR京都駅から新快速で50分
新幹線で30分
JR名古屋駅から新幹線で35分
（※新幹線は米原駅で乗継ぎ）
- ▼JR南彦根駅から
バスで15分（南彦根駅西口：南彦根
県立大学線）／タクシーで10分
- ▼JR彦根駅から
バスで25分（彦根駅：彦根県立大学
線）／タクシーで15分
- ▼名神彦根ICから
車で20分（6.5km）



【学内案内図】



《お問い合わせ先》

滋賀県立大学 地域ひと・モノ・未来情報研究センター

〒522-8533

滋賀県彦根市八坂町2500産学連携センター（C8棟）2階C8-204

☎0749-28-8421（事務局） 0749-28-8382（酒井センター長）

E-mail : ict@e.usp.ac.jp URL : <http://www.ict.usp.ac.jp>

▼センターHPのQRコード

